令和4年度分 やまと高等学校 学校評価について

国から構造改革特別区域計画の認定を受け、山都町が認可した【やまと高等学校】について、学校評価を行いましたので公表します。

○根拠法令:構造改革特別区域法第12条第5項及び第6項

評価基準: 4 = 優れている 3 = 良い 2 = 一部要改善 1 = 要改善

			点数・評価
		点数	3
	教職員の資質・能力の育成	評価	経験豊富な教職員が配置され、計画に沿った研修が行われている。 また、広域通信制教育の在り方等について、運営指導委員会委員と教職員による 意見交換が全教職員を対象として実施されていることは評価できる。 さらに、臨床心理士、公認心理師によるストレスマネジメント研修に関しても全 教職員が研修を受講されており、教職員の資質・能力向上のため、今後も継続し ていただきたい。
		点数	3
学校運営体制	生徒指導の状況	評価	開校間もないため、生徒数が少ない状況ではあるが、その分手厚い指導が行われている。今後、生徒が増加する場合でも引き続き適切な指導を実施していただきたい。 指導体制として、スクールカウンセラーの活用、生徒・保護者とのSNSを活用した連絡体制が構築されていたり、必要に応じた家庭訪問なども実施され、きめ細やかな指導体制が取られていることは評価できる。 教育区域が広域であることで難しい面もあるようだが、さらなる工夫を重ね、生徒に寄り添った対応をお願いしたい。

1		点数	3
	地域との連携	評価	開校して年数も浅いので、これからの課題である。 学校設置会社保有の町内施設での農業体験などが実施されているほか、運動場については、地域のイベント開催に伴う臨時駐車場やドクターへリ臨時離着陸場として提供するなど、地域との連携の取組は徐々にできてきている。 今後、運動場の草刈りなど維持管理においても地域住民にも参加いただき、終了後に交流イベントを開催するなど、地域との持続的な連携を図る取組みなども検討していただきたい。
施設・設備の状況	教室等の設置状況	点数	3
		評価	本校は元々県立高校の跡地であり、施設の有効活用ができており、町に対して貢献いただいている部分もある。また、高校開校にあたっては、今後利用予定の全施設の耐震診断を実施し、必要な耐震補強工事を完了した上で、十分な校舎改修等が行われたことは評価できる。 図書館の充実についてもさまざまなアイデアをお持ちであるよう感じたので、今後に期待したい。また、近隣学校の図書館との連携も考慮いただきたい。

		点数	4
	授業の状況	評価	開校初年度(2021年度)から、対象だった5名全員が卒業できたこと、また、在籍した52人すべての生徒が、「添削課題の提出」、「面接指導(スクーリング)への参加」、「単位認定試験の受験」等の要件を満たし、単位を修得できたことは大いに評価できる。 ICTや外部人材、地域の自然や文化財等の教育資源も十分に活用されているようである。特に山都町の誇りである通潤橋が国宝に指定されたこともあり、今後は通潤橋をはじめとした山都町の文化財などに対する地域の人々の想いや願いを学ぶ取組みもお願いしたい。
	適切な面接指導の実施	点数	4
学習指導の状況		評価	フリースクール等との連携、スクールカウンセラーの配置など適切な面接指導が 実施されている。その結果として、履修者数に対しての単位認定が100%と なっていることは評価したい。 生徒の希望に寄り添う形で面接指導が実施されているように感じられ、他者への 思いやりや学習の進め方、つまづきの解消など指導の充実が図られている。 ただ、卒業者の中には進路未決定者もいるため、引き続きサポートをお願いした い。
	問題を抱える生徒への対応	点数	4
		評価	問題行動等の状況を把握しながら、十分な個別対応がなされている。現状では、生徒が少数であることで手厚い対応が行われていることも考えられ、今後、生徒が増加する場合においても適切な指導体制を構築していただきたい。また、総合的な探求の時間や自立活動教育活動を通して、自己の在り方や生き方の課題を自ら発見し、生活上の困難を主体的に改善・克服するための能力の育成が行われていることは評価できる。

		点数	3
	学校経営の安定性	評価	学校経営の安定のため、設置会社の業態を変化させたり、面接指導(スクーリング)の円滑な実施を目的の1つとして、町有宿泊施設を受託経営するなど、学校経営安定のための工夫がなされている。自己資本比率が25%となっており、前期よりは改善されているが、さらなる学校経営の安定のため、その割合を高めてもらいたい。
	学校設置による経済的効果	点数	3
学校設置会社の経営状況		評価	生徒数が少数であるため、スクーリングや各種活動による経済的効果はまだ限定的であるが、生徒の増加にあたってさらに町への経済的効果に期待ができる。また、町内で2つ目の宿泊施設も経営される予定であり、今後のスクーリング時の宿泊利用はもとより、地元人材の雇用や観光面での施設の活用に大いに期待している。
	学校設置による社会的効果	点数	3
		評価	設置会社として、山都町において、教育、雇用、地域再生のための農業事業に取り組まれており、町に対する地域貢献にも期待している。 閉校後の高校施設において、耐震補強工事や内外装工事等が実施され、教育の場として再開できたことは大変喜ばしいことである。 グラウンドの一般開放など、地域住民とのつながりにも期待できる。